

令和2（2020）年度 歯科衛生士の就業支援に関するアンケート調査 結果の概要

I 調査の概要

1 調査目的

歯科衛生士の就業状況の実態を把握するとともに、前回調査結果（平成30年度）と比較し、離職防止及び就業定着に向けた施策立案のための基礎資料を得る。

2 実施主体

愛知県保健医療局健康医務部健康対策課

3 調査対象

歯科衛生士資格を有する者のうち、基準日（令和2年12月31日）において、愛知県内で歯科衛生士業務に従事している者

4 調査項目

(1) 属性に関する事項

性別、年齢区分、免許種別、従事場所、勤務地

(2) 就業状況に関する事項（下線は今回新たに加えた項目）

雇用形態、離職経験の有無、離職の回数、離職の理由、現職場での勤務年数、現在の業務内容、現職場で利用できる福利厚生、現職場の歯科衛生士人数、必要な知識・スキルアップ、勤務継続の要件

5 調査期間

令和2年12月31日から令和3年1月15日まで

6 調査方法

(1) 調査票

歯科衛生士業務従事者届出票の余白部分に、調査の主旨、調査項目及び回答欄を記載する。

(2) 調査方法

歯科診療所等を通じて調査票を配布し、郵送又は愛知県電子申請・届出システムにより回収する。
調査票の回答をもって調査協力の同意を得たものとみなす。

7 回収状況

届出者7,233人のうち、回答者は6,967人であった（回収率96.3%）。

分析対象は、171人の無効回答を除く6,796人とする（男性5人・女性6,791人、有効回答率97.5%）。

Ⅱ 調査の結果

1 回答者の属性

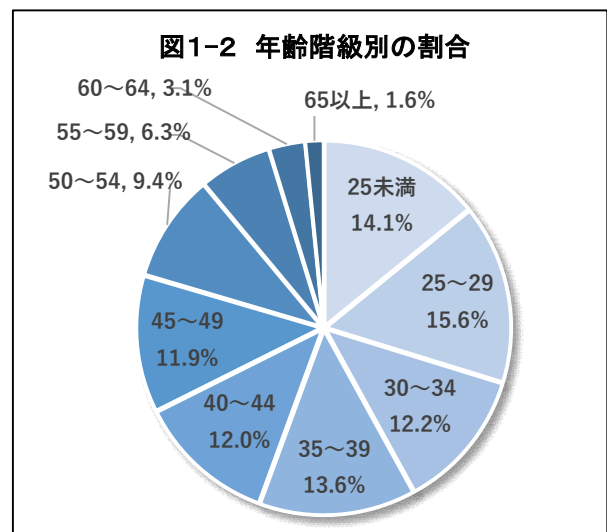
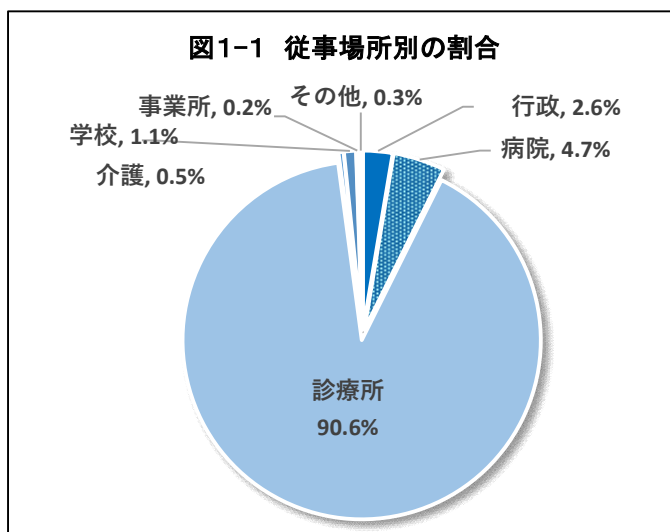
従事場所別では、行政機関は2.6%、病院は4.7%、診療所は90.6%、介護施設は0.5%、学校・養成所は1.1%、事業所は0.2%、その他は0.3%であった（表1、図1-1）。

年齢階級別では、20歳代は全体の29.8%、30歳代は25.8%、40歳代は24.0%、50歳代は15.7%、60歳以上は4.7%であった（表1、図1-2）。

いずれも前回調査とほぼ同じ状況であった。

表1 年代別の従事場所

	25未満	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65以上	合計
保健所	0	1	3	0	4	3	0	4	1	0	16
都道府県	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
市区町村	7	8	9	19	32	23	19	23	16	7	163
病院	36	40	39	38	41	62	35	23	4	1	319
診療所	907	1,006	773	857	718	698	554	361	185	95	6,154
老人保健施設	0	0	1	0	2	1	2	2	1	0	9
介護医療院	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
特別養護老人ホーム	0	0	0	1	1	1	4	1	1	0	9
居宅介護支援事業所	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	5
その他介護施設	0	0	0	0	3	0	0	1	1	1	6
学校・養成所	1	4	4	6	11	16	13	12	3	4	74
事業所	0	2	2	1	3	1	4	2	0	0	15
その他	10	1	0	2	2	3	4	0	1	0	23
合計	961	1,062	831	924	818	810	638	430	214	108	6,796
割合	14.1%	15.6%	12.2%	13.6%	12.0%	11.9%	9.4%	6.3%	3.1%	1.6%	100.0%
(前回調査)	15.1%	15.6%	13.9%	12.5%	13.0%	11.3%	9.7%	5.1%	2.5%	1.3%	100.0%



注) 従事場所の区分

行政：保健所、都道府県、市区町村の合計

介護：老人保健施設（介護老人保健施設）、介護医療院、特別養護老人ホーム（指定介護老人福祉施設）、居宅介護支援事業所、その他介護施設の合計

学校：歯科衛生士学校・養成所

2 現在の雇用形態

常勤は57.5%、パート・非常勤は39.9%、その他は1.5%であった（表2、図2）。

従事場所別では、病院、学校・養成所は常勤の割合が高かった。

年齢構成別では、20歳代は常勤が大半を占め、35歳以上ではパート・非常勤の割合が高かった。

表 2-1 従事場所別の勤務形態

	行政	病院	診療所	介護	学校	事業所	その他	合計	割合	前回調査
常勤	75	230	3,520	14	58	7	4	3,908	57.5%	57.5%
パート・非常勤	100	82	2,486	16	13	8	7	2,712	39.9%	40.3%
その他	4	6	76	0	2	0	12	100	1.5%	2.0%
無回答	1	1	72	1	1	0	0	76	1.1%	0.2%
合計	180	319	6,154	31	74	15	23	6,796	100.0%	100.0%

表 2-2 年齢階級別の勤務形態

	25未満	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65以上	合計
常勤	919	924	472	350	308	336	294	182	78	45	3,908
パート・非常勤	22	119	337	559	489	453	333	230	120	50	2,712
その他	13	11	8	7	11	12	6	12	10	10	100
無回答	7	8	14	8	10	9	5	6	6	3	76
合計	961	1,062	831	924	818	810	638	430	214	108	6,796

図2-1 従事場所別の勤務形態

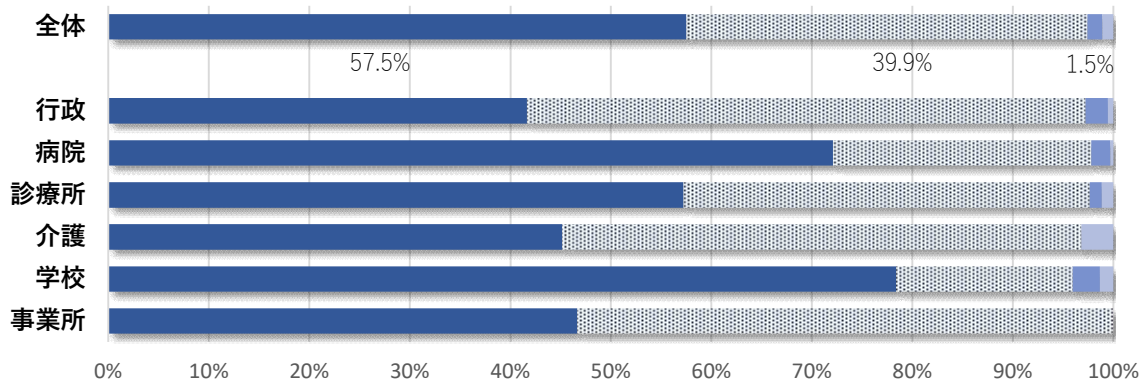
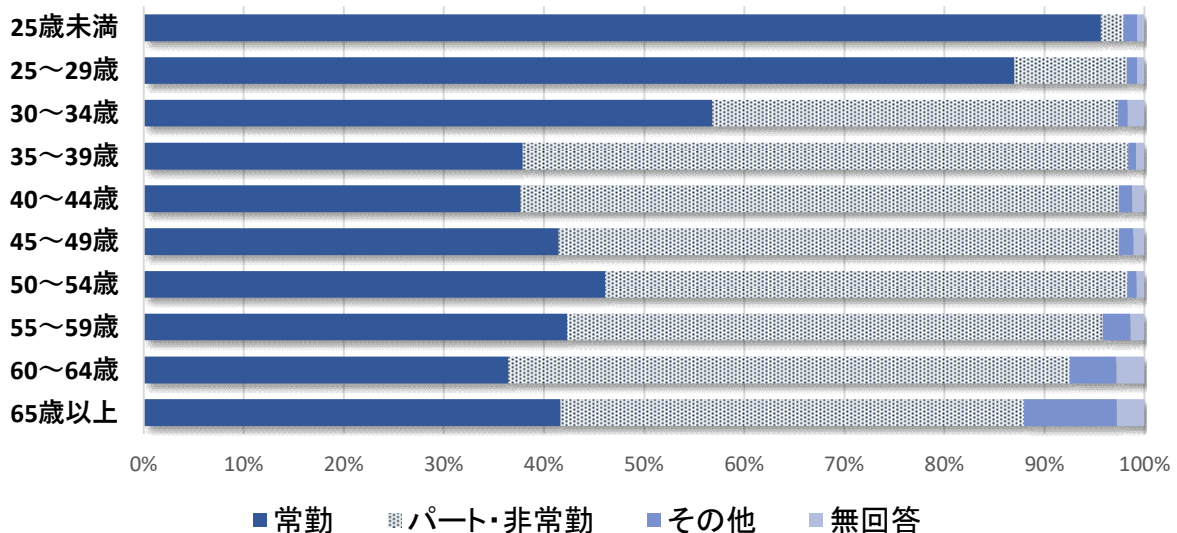


図2-2 年齢階級別の勤務形態



3 離職（転職）の経験及びその回数

離職の経験がない者は31.6%で、経験がある者は66.5%であった。離職回数では、1回は26.8%、2回は18.8%、3回以上は21.0%であった（表3、図3）。

従事場所別では、介護施設、学校・養成所で離職回数が多い状況であった。

年齢階級別では、25歳未満は2割弱、35歳～54歳は9割弱の者が離職の経験があった。

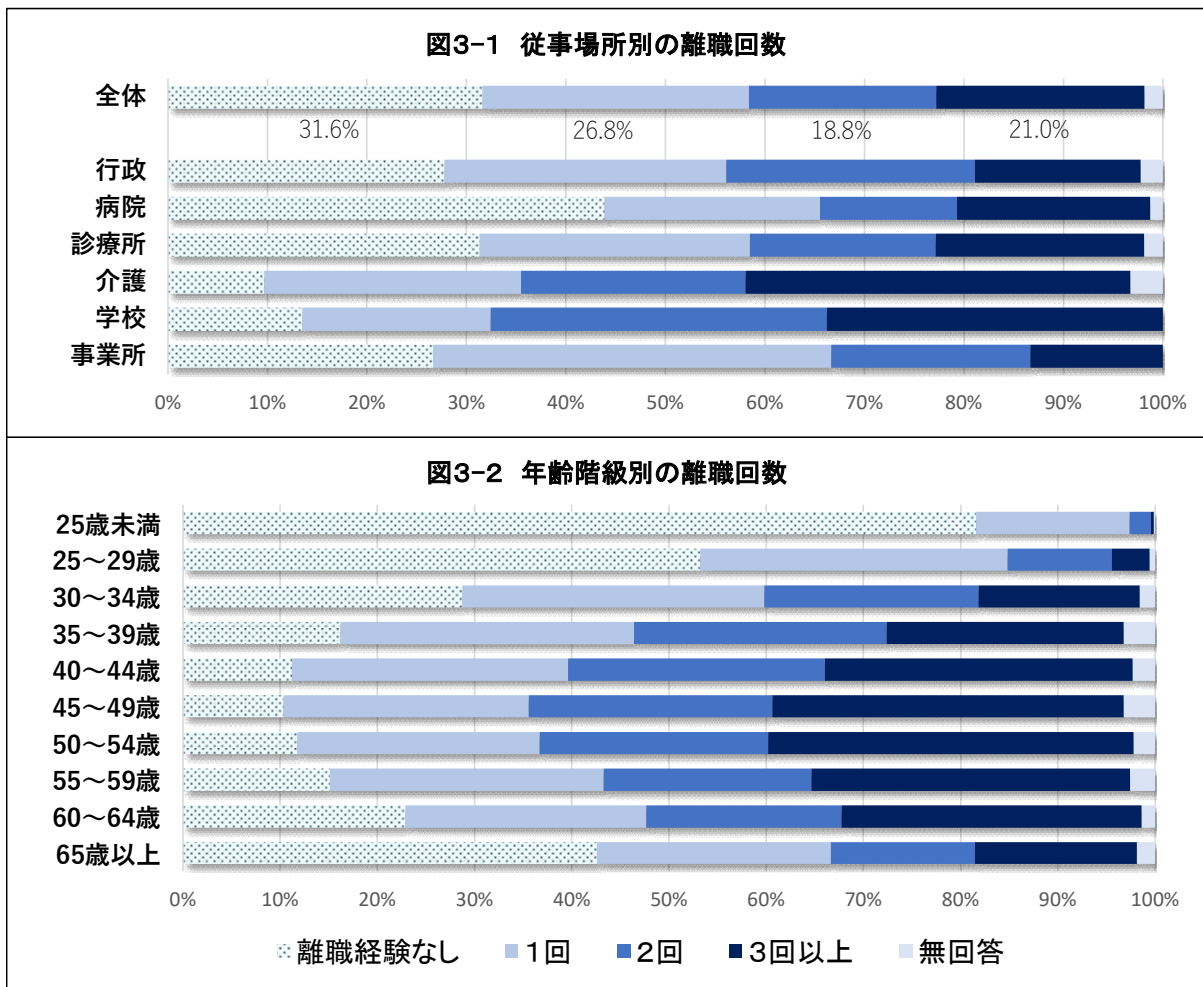
表3-1 従事場所別の離職回数

※表3の平均回数の分母は分析対象全体

	行政	病院	診療所	介護	学校	事業所	その他	合計	割合	前回調査
離職経験なし	50	140	1,929	3	10	4	13	2,149	31.6%	32.7%
1回	51	69	1,670	8	14	6	2	1,820	26.8%	27.4%
2回	45	44	1,150	7	25	3	4	1,278	18.8%	17.5%
3回以上	30	62	1,290	12	25	2	3	1,424	21.0%	18.7%
無回答	4	4	115	1	0	0	1	125	1.8%	3.8%
合計	180	319	6,154	31	74	15	23	6,796	100.0%	100.0%
平均回数	1.4	1.3	1.4	2.2	2.1	1.3	0.9	1.4		1.3

表3-2 年齢階級別の離職回数

	25歳未満	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上	合計
離職経験なし	784	565	239	150	92	84	75	65	49	46	2,149
1回	152	336	258	279	232	204	159	121	53	26	1,820
2回	21	114	183	240	216	203	150	92	43	16	1,278
3回以上	3	41	138	225	259	293	240	141	66	18	1,424
無回答	1	6	13	30	19	26	14	11	3	2	125
合計	961	1,062	831	924	818	810	638	430	214	108	6,796
平均回数	0.2	0.7	1.3	1.7	2.0	2.2	2.2	2.1	1.8	1.3	1.4



4 離職（転職）の理由

これまでの離職の一番の理由として、「結婚・出産・育児」が39.1%と最も多く、次いで「家庭の事情」14.2%、「人間関係」11.6%、「仕事内容」9.5%の順であった。

従事場所別では、事業所を除き、「結婚・出産・育児」と回答した者が多かった（表5-1、図5-1）。

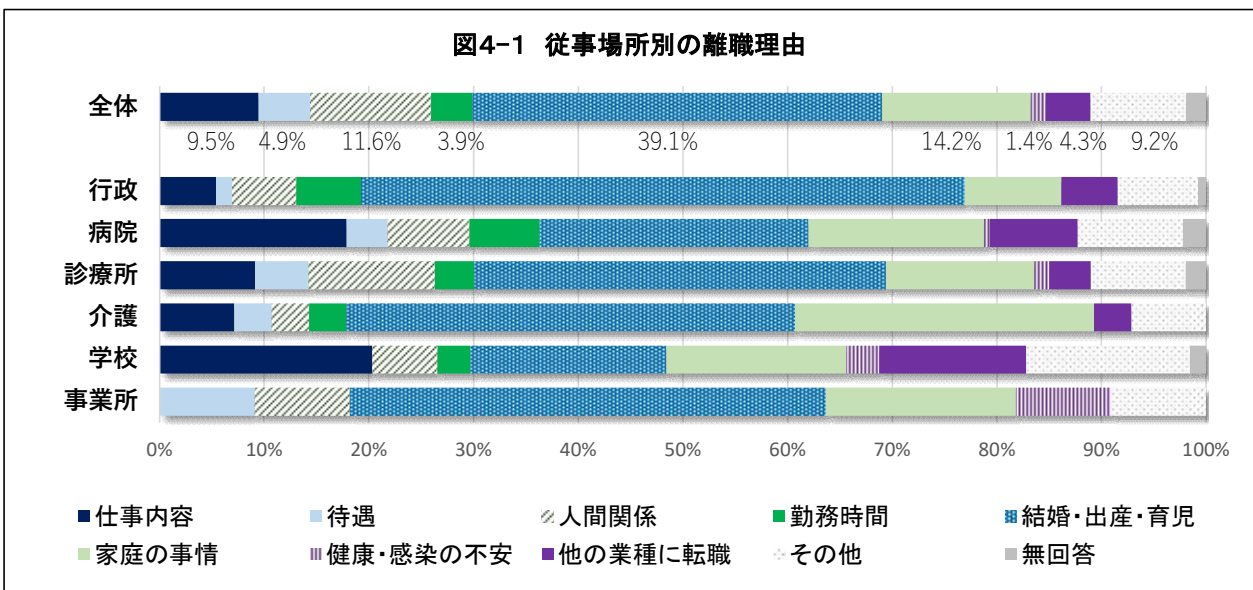
年代別では、20歳代は「仕事内容」「待遇」「人間関係」と回答した者が多く、30歳代以上では「結婚・出産・育児」「家庭の事情」と回答する者が多かった（表5-2、図5-2）。

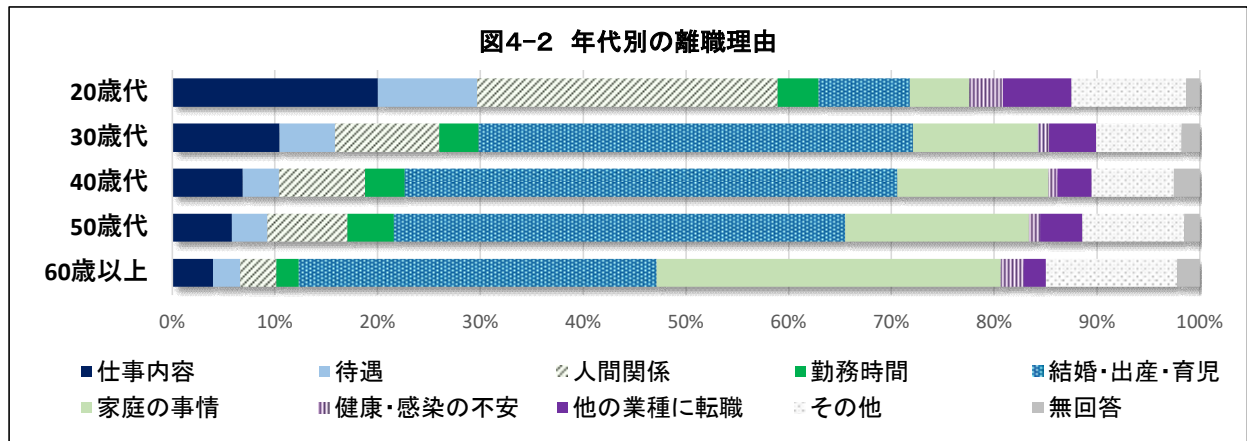
表4-1 従事場所別の離職の一番の理由

	行政	病院	診療所	介護	学校	事業所	その他	合計	割合	前回調査
仕事内容	7	32	384	2	13	0	1	439	9.5%	8.5%
待遇	2	7	215	1	0	1	1	227	4.9%	5.9%
人間関係	8	14	508	1	4	1	0	536	11.6%	10.5%
勤務時間	8	12	159	1	2	0	0	182	3.9%	3.9%
結婚・出産・育児	75	46	1,655	12	12	5	7	1,812	39.1%	44.6%
家庭の事情	12	30	595	8	11	2	0	658	14.2%	11.1%
健康・感染の不安	0	1	61	0	2	1	0	65	1.4%	1.6%
他の業種に転職	7	15	166	1	9	0	0	198	4.3%	4.1%
その他	10	18	384	2	10	1	0	425	9.2%	7.2%
無回答	1	4	81	0	1	0	1	88	1.9%	2.6%
計（離職経験あり）	130	179	4,208	28	64	11	10	4,630	100.0%	100.0%

表4-2 年代別の離職の一番の理由

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
仕事内容	135	142	99	54	9	439
待遇	65	73	51	32	6	227
人間関係	197	138	121	72	8	536
勤務時間	27	52	56	42	5	182
結婚・出産・育児	60	574	692	407	79	1,812
家庭の事情	39	165	212	166	76	658
健康・感染の不安	22	15	13	10	5	65
他の業種に転職	45	62	48	38	5	198
その他	75	113	116	92	29	425
無回答	9	24	36	14	5	88
計（離職経験あり）	674	1,358	1,444	927	227	4,630





5 現職場での勤務年数

勤務年数では、「1年未満」が14.2%、「1～3年未満」が22.7%、「3～5年未満」が15.5%で、5年未満の者が半数以上を占めていた（表5、図5）。

従事場所別では、行政機関は勤務年数10年以上の者の割合が高く、次いで介護施設、養成所等の順であった。

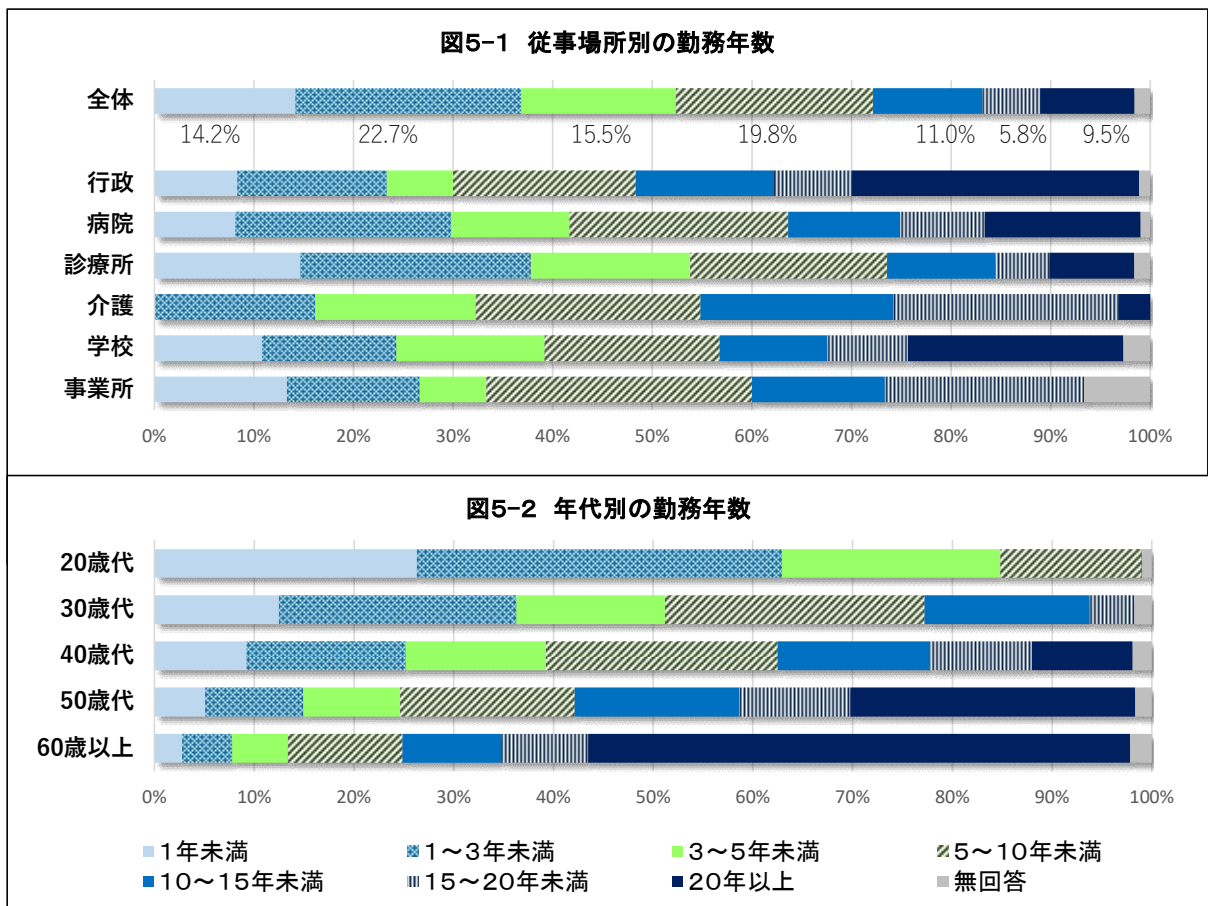
年代別では、高い年代ほど勤務年数が長い者の割合が高かった。

表5-1 従事場所別の現職場での勤務年数

	行政	病院	診療所	介護	学校	事業所	その他	合計	割合	前回調査
1年未満	15	26	902	0	8	2	11	964	14.2%	14.7%
1～3年未満	27	69	1,425	5	10	2	2	1,540	22.7%	22.5%
3～5年未満	12	38	985	5	11	1	3	1,055	15.5%	14.8%
5～10年未満	33	70	1,216	7	13	4	2	1,345	19.8%	20.3%
10～15年未満	25	36	670	6	8	2	1	748	11.0%	11.7%
15～20年未満	14	27	334	7	6	3	1	392	5.8%	6.3%
20年以上	52	50	524	1	16	0	2	645	9.5%	9.1%
無回答	2	3	98	0	2	1	1	107	1.6%	0.6%
合計	180	319	6,154	31	74	15	23	6,796	100.0%	100.0%

表5-2 年代別の現職場での勤務年数

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
1年未満	532	219	150	54	9	964
1～3年未満	741	418	260	105	16	1,540
3～5年未満	443	261	229	104	18	1,055
5～10年未満	286	457	378	187	37	1,345
10～15年未満	0	291	249	176	32	748
15～20年未満	1	78	166	119	28	392
20年以上	0	0	165	305	175	645
無回答	20	31	31	18	7	107
合計	2,023	1,755	1,628	1,068	322	6,796



6 現在の業務内容

業務内容では、「歯周病管理・SRP（スケーリング・ルートプレーニング）」が80.9%、「歯科保健指導」が72.9%、「う蝕予防処置」が71.1%と多かった。小児と高齢者の口腔機能支援は約3割、在宅等の口腔のケアは約4割であった。受付・アシスタント業務は約3割であった（表6、図6）。

従事場所別では、それぞれの業務に応じた業務内容であった。

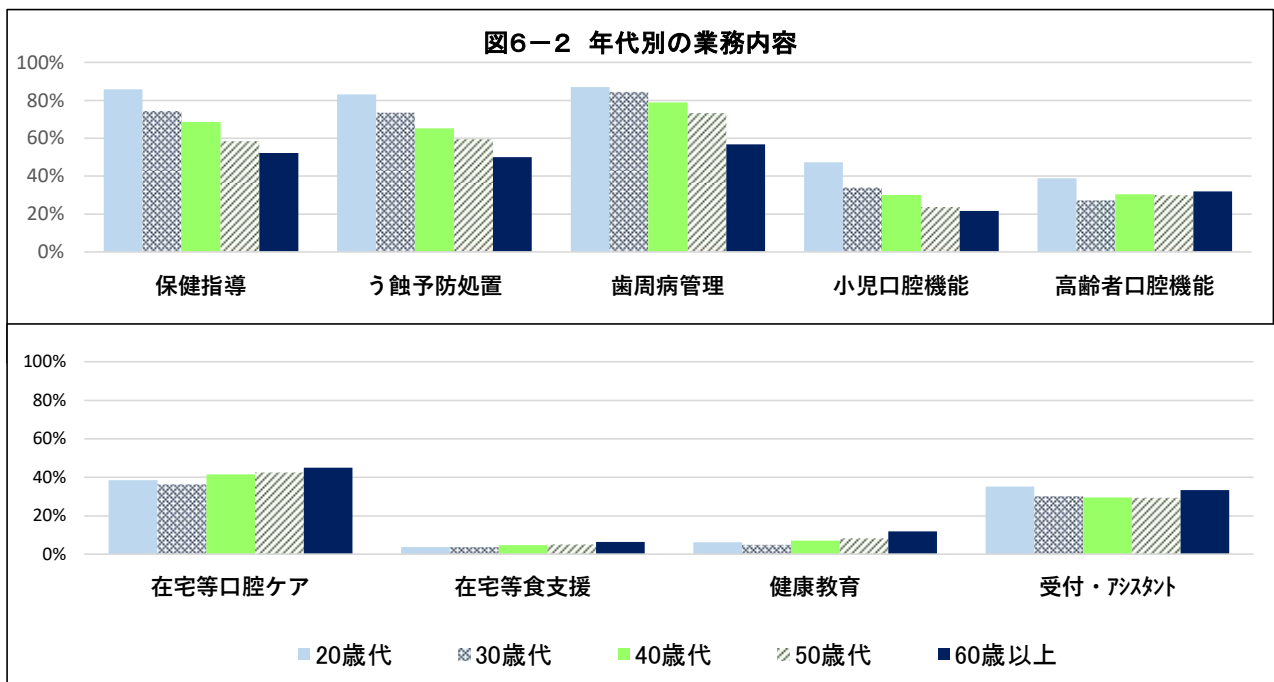
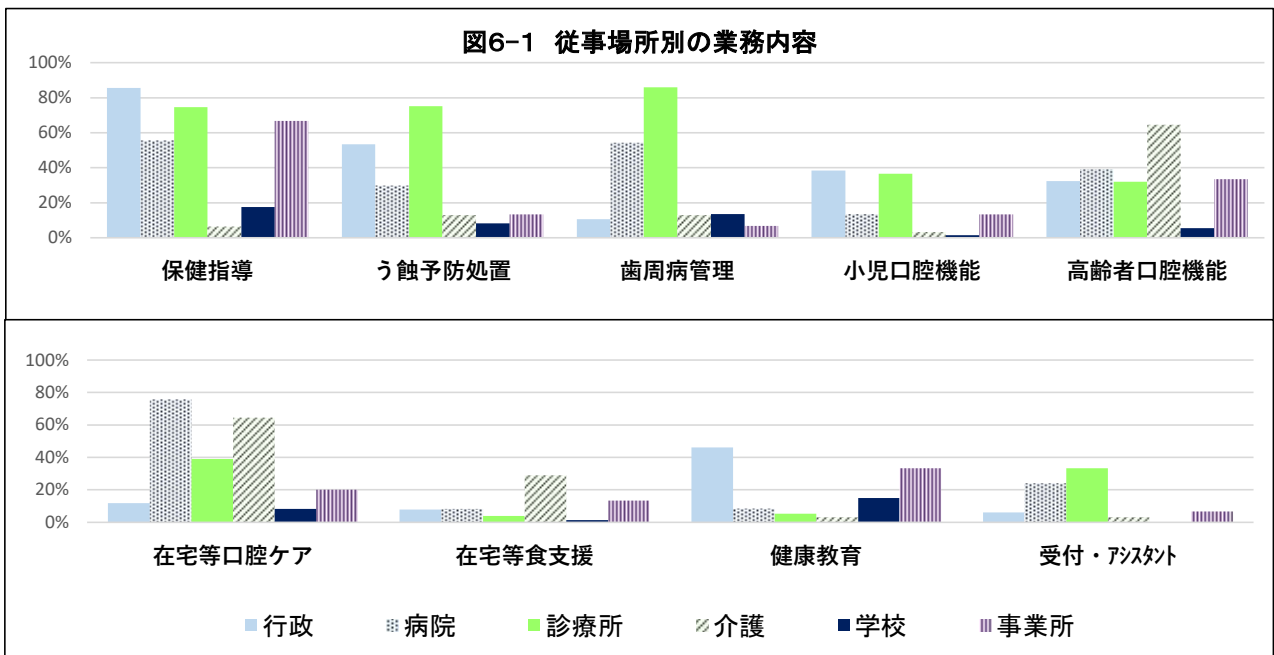
若い年代は様々な業務に従事し、年代・経験が増すごとに専門分野に携わる傾向が見られた。

表6-1 従事場所別の現在の業務内容

	行政	病院	診療所	介護	学校	事業所	その他	合計	割合
歯科保健指導	154	177	4,588	2	13	10	10	4,954	72.9%
う蝕予防処置	96	95	4,622	4	6	2	8	4,833	71.1%
歯周病管理・SRP	19	173	5,282	4	10	1	8	5,497	80.9%
小児の口腔機能支援	69	43	2,247	1	1	2	3	2,366	34.8%
高齢者の口腔機能支援	58	125	1,971	20	4	5	4	2,187	32.2%
在宅等の口腔のケア	21	242	2,399	20	6	3	3	2,694	39.6%
在宅等の食支援・摂食嚥下訓練	14	26	240	9	1	2	2	294	4.3%
学校等での集団健康教育	83	27	324	1	11	5	4	455	6.7%
受付・アシスタント業務	11	77	2,050	1	0	1	3	2,143	31.5%
その他	47	97	406	9	61	5	11	636	9.4%
実人数(分母)	180	319	6,154	31	74	15	23	6,796	100.0%

表 6-2 年代別の現在の業務内容

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
歯科保健指導	1,737	1,307	1,117	625	168	4,954
う蝕予防処置	1,683	1,291	1,062	636	161	4,833
歯周病管理・SRP	1,760	1,484	1,285	785	183	5,497
小児の口腔機能支援	956	596	492	252	70	2,366
高齢者の口腔機能支援	789	480	495	320	103	2,187
在宅等の口腔のケア	781	638	676	454	145	2,694
在宅等の食支援・摂食嚥下訓練	75	66	77	55	21	294
学校等での集団健康教育	126	86	117	88	38	455
受付・アシスタント業務	712	530	480	314	107	2,143
その他	167	137	154	120	58	636
実人数(分母)	2,023	1,755	1,628	1,068	322	6,796



7 現職場の歯科衛生士人数

歯科衛生士の人数では、「2～4人」が41.7%と最も多く、次いで「5～9人」が32.7%であった。「1人」が8.4%、「10人以上」が11.0%であった（表7、図7）。

従事者別では、介護施設は「1人」の割合が高く、養成所等、事業所では「10人以上」の割合が高かった。

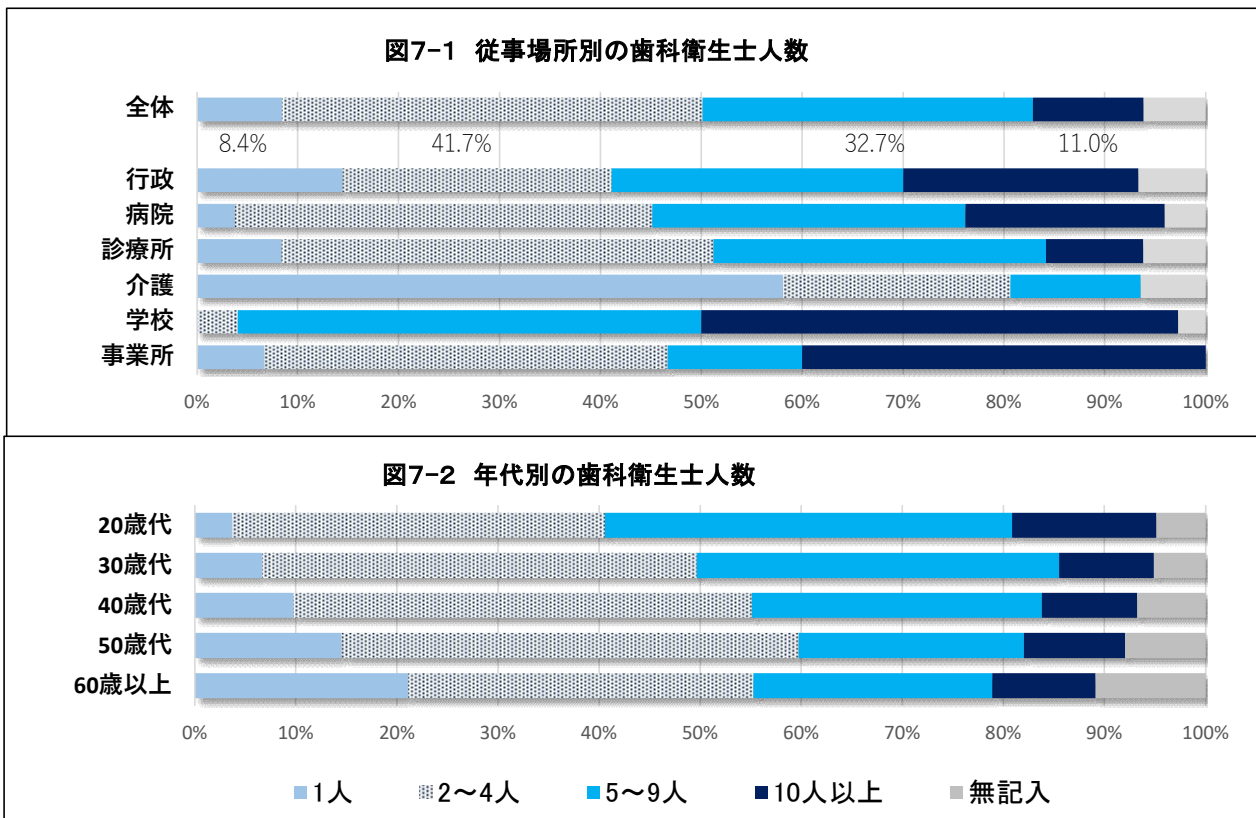
年代別では、若い年代ほど歯科衛生士が複数いる職場で従事する傾向が見られた。

表7-1 従事場所別の歯科衛生士人数

	行政	病院	診療所	介護	学校	事業所	その他	合計	割合
1人	26	12	516	18	0	1	1	574	8.4%
2～4人	48	132	2,634	7	3	6	2	2,832	41.7%
5～9人	52	99	2,031	4	34	2	3	2,225	32.7%
10人以上	42	63	594	0	35	6	7	747	11.0%
無記入	12	13	379	2	2	0	10	418	6.2%
計	180	319	6,154	31	74	15	23	6,796	100.0%

表7-2 年代別の歯科衛生士人数

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
1人	75	117	159	155	68	574
2～4人	746	755	738	483	110	2,832
5～9人	815	629	467	238	76	2,225
10人以上	289	164	154	107	33	747
無記入	98	90	110	85	35	418
計	2,023	1,755	1,628	1,068	322	6,796



8 現職場で利用できる福利厚生

現職場で利用できる福利厚生制度では、「通勤手当」が74.8%と最も多く、次いで「有給休暇」、「健康診断」の順であった（表8）。

従事場所、歯科衛生士人数、雇用形態により、利用できる福利厚生の状況は異なっていた。

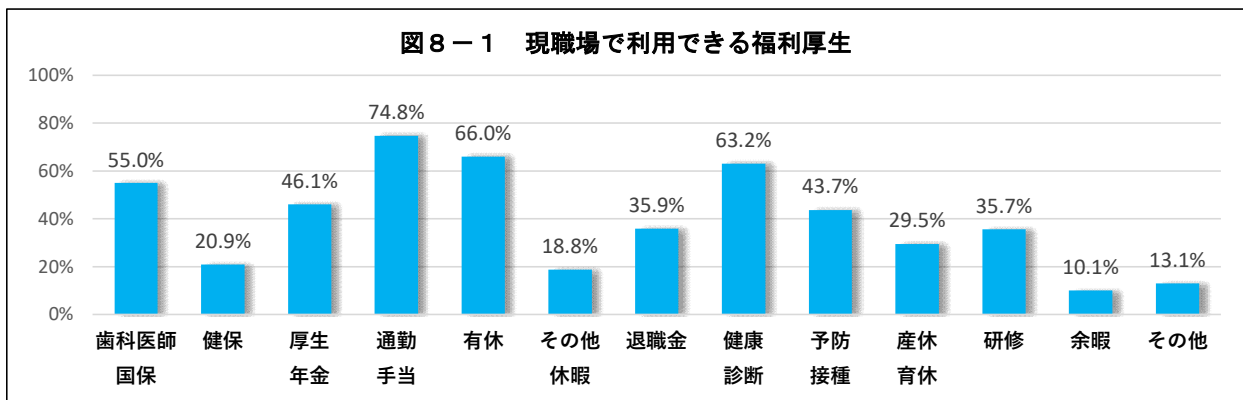
※本人が認識している回答であり、実際の雇用契約とは異なる場合がある。

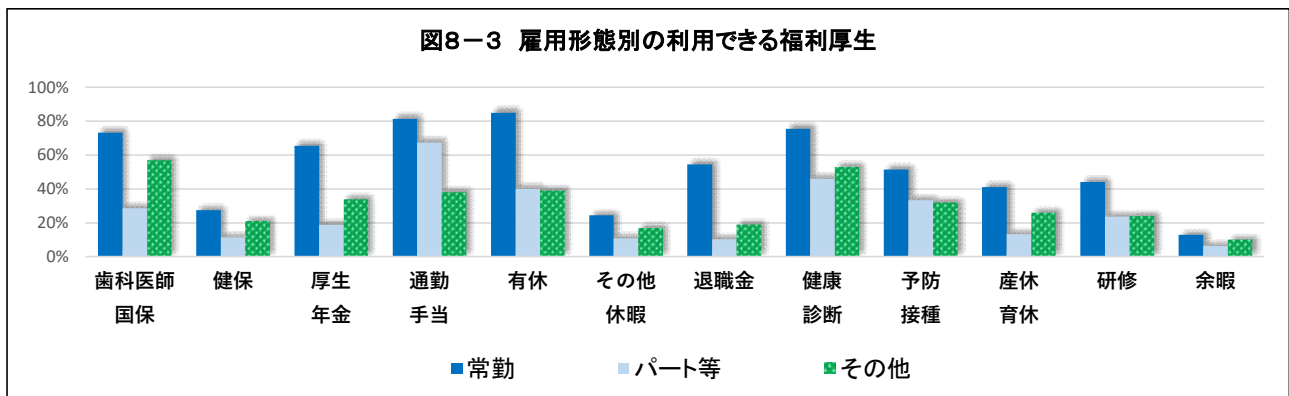
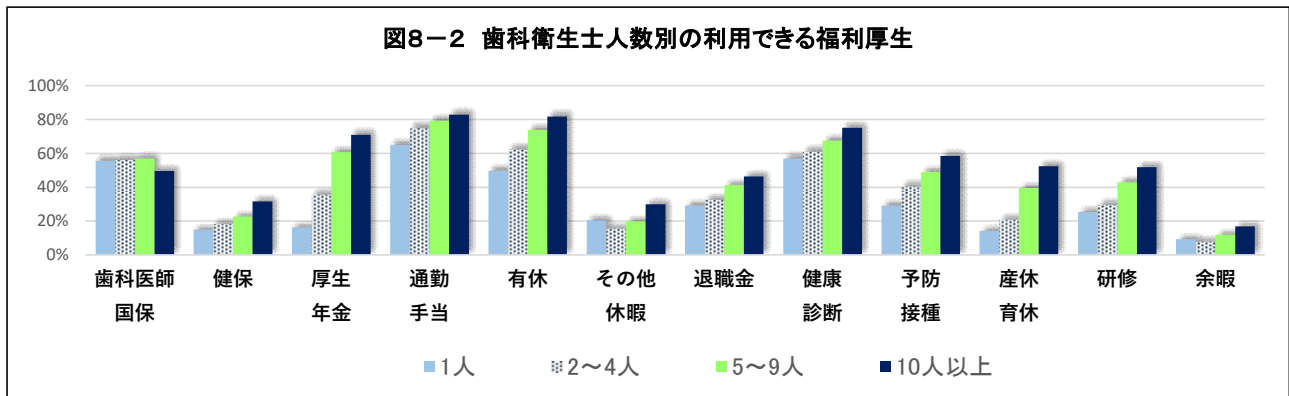
表8-1 従事場所別の利用できる福利厚生

	行政	病院	診療所	介護	学校	事業所	その他	合計	割合
歯科医師国保	2	1	3,734	1	1	0	0	3,739	55.0%
それ以外の健康保険	74	237	1,036	14	52	7	4	1,420	20.9%
厚生年金	68	259	2,733	18	47	8	5	3,133	46.1%
通勤手当	104	282	4,603	25	56	13	10	5,083	74.8%
有給休暇	114	302	3,983	22	58	8	7	4,487	66.0%
それ以外の休暇	76	201	952	14	26	7	3	1,276	18.8%
退職金	66	204	2,111	13	41	8	3	2,443	35.9%
健康診断	91	290	3,826	22	56	7	5	4,292	63.2%
予防接種費用補助	69	269	2,584	22	20	5	4	2,969	43.7%
産休・育休制度（産後復帰を含む）	67	209	1,681	10	34	7	3	2,008	29.5%
研修費用補助	56	128	2,176	16	41	6	3	2,423	35.7%
余暇費用補助（慰安旅行等）	13	52	610	5	6	2	1	688	10.1%
その他	60	149	637	12	26	4	11	888	13.1%
実人数(分母)	180	319	6,154	31	74	15	23	6,796	100.0%

表8-2 歯科衛生士人数別、雇用形態別の利用できる福利厚生

	1人	2~4人	5~9人	10人以上	常勤	パート等	その他	無回答	合計
歯科医師国保	319	1,584	1,267	370	2,861	777	57	44	3,739
それ以外の健康保険	85	513	503	236	1,071	312	21	20	1,424
厚生年金	93	1,005	1,352	530	2,558	511	34	35	3,138
通勤手当	373	2,118	1,762	619	3,182	1,828	38	45	5,093
有給休暇	286	1,762	1,639	611	3,321	1,088	39	46	4,494
それ以外の休暇	118	437	444	223	954	296	17	12	1,279
退職金	167	919	918	346	2,126	279	19	22	2,446
健康診断	326	1,723	1,502	560	2,954	1,244	53	46	4,297
予防接種費用補助	167	1,150	1,090	437	2,012	901	32	28	2,973
産休・育休制度（産後復帰を含む）	81	590	879	391	1,601	362	26	22	2,011
研修費用補助	146	836	956	387	1,722	644	24	36	2,426
余暇費用補助（慰安旅行等）	53	222	268	125	503	170	10	6	689
その他	96	335	276	133	646	219	22	12	899
実人数(分母)	574	2,832	2,225	747	3,908	2,712	100	76	6,796





9 必要な知識・スキルアップ

今後の業務に必要なだと思う知識・スキルアップでは、「歯周病・SRP（スケーリング・ルートプレーニング）」が66.2%と最も多く、次いで「在宅等の口腔のケア・食支援・多職種連携」、「感染対策」の順であった（表9、図9）。

年代別では、年代が若いほど多い項目、変わらない項目がみられた。

表9-1 従事場所別の必要な知識・スキルアップ

	行政	病院	診療所	介護	学校	事業所	その他	合計	割合
う蝕予防・フッ化物応用	91	41	1,816	0	13	4	5	1,970	29.0%
歯周病管理・SRP	27	122	4,317	3	17	5	9	4,500	66.2%
歯科衛生ケアプロセス	32	73	1,768	7	31	5	4	1,920	28.3%
口腔内写真撮影法	3	53	1,447	1	11	3	4	1,522	22.4%
口腔機能評価・訓練法	88	164	2,096	17	30	6	11	2,412	35.5%
在宅等口腔ケア・食支援・多職種連携	61	198	2,323	20	32	4	15	2,653	39.0%
周術期口腔機能管理	15	178	847	1	29	2	6	1,078	15.9%
災害時の歯科保健活動	74	56	694	7	28	6	4	869	12.8%
コミュニケーション技法	59	87	1,730	9	28	7	7	1,927	28.4%
感染対策	85	189	2,171	16	33	12	7	2,513	37.0%
その他	30	35	339	7	27	5	5	448	6.6%
実人数(分母)	180	319	6,154	31	74	15	23	6,796	100.0%

表9-2 年代別の必要だと思う知識・スキルアップ

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
う蝕予防・フッ化物応用	802	544	366	200	58	1,970
歯周病管理・SRP	1,629	1,241	935	563	132	4,500
歯科衛生ケアプロセス	670	517	424	259	50	1,920
口腔内写真撮影法	570	431	317	165	39	1,522
口腔機能評価・訓練法	701	631	589	391	100	2,412
在宅等口腔ケア・食支援・多職種連携	750	665	661	456	121	2,653
周術期口腔機能管理	355	254	260	170	39	1,078
災害時の歯科保健活動	234	199	228	167	41	869
コミュニケーション技法	810	480	369	215	53	1,927
感染対策	665	627	665	423	133	2,513
その他	108	105	126	72	37	448
実人数(分母)	2,023	1,755	1,628	1,068	322	6,796

図9-1 従事場所別の必要な知識・スキルアップ

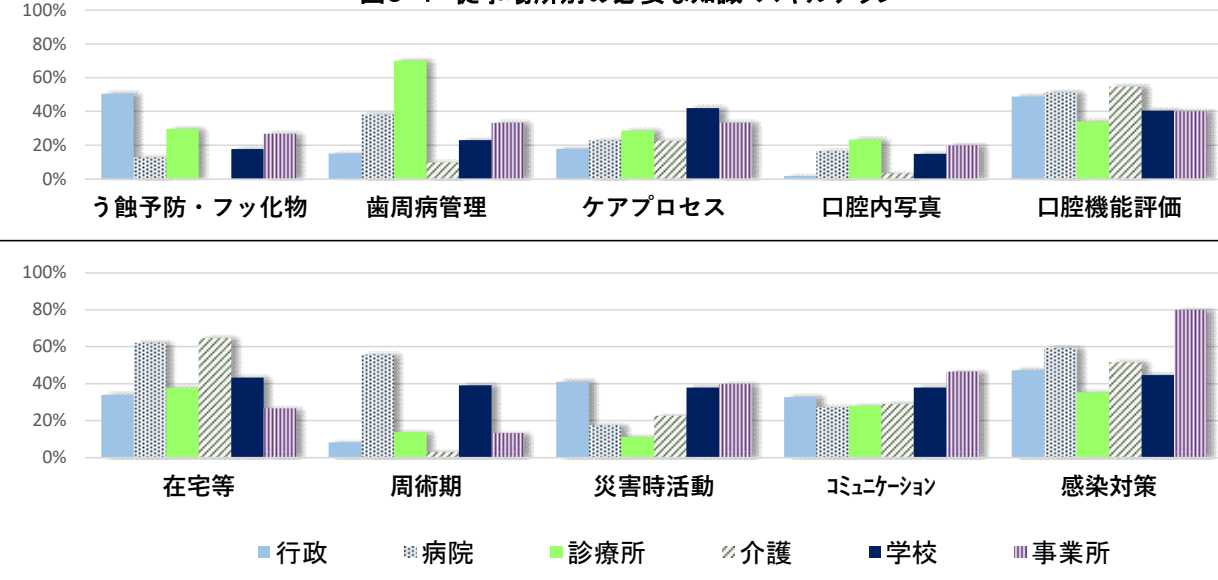
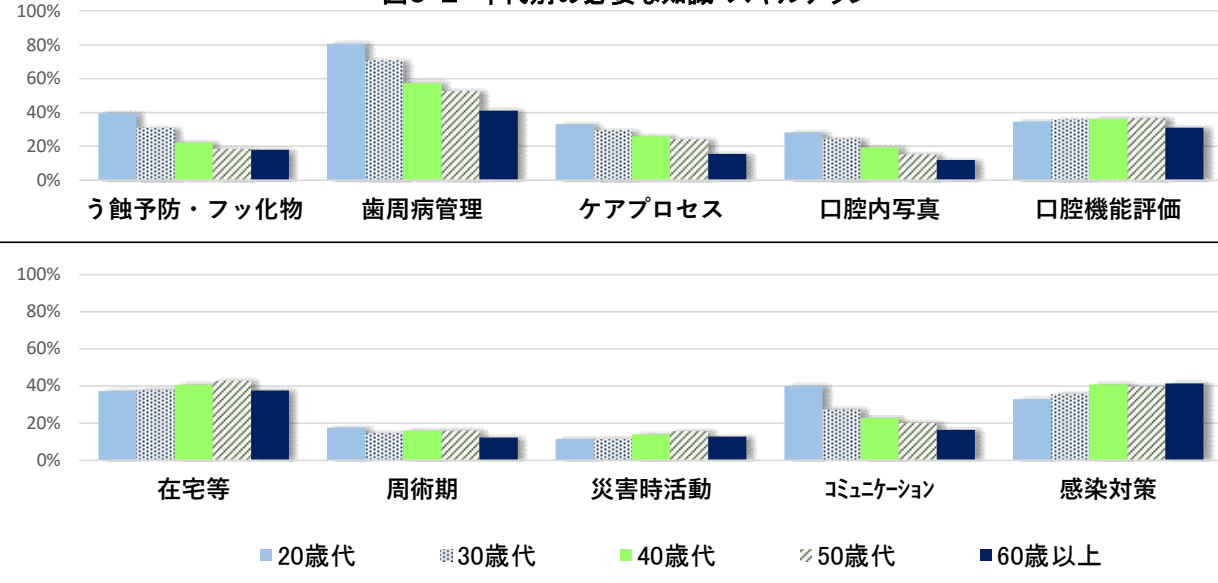


図9-2 年代別の必要な知識・スキルアップ



10 勤務継続の要件

歯科衛生士を続けるために重要だと思う条件（上位2項目を選択）については、「職場の良好な人間関係」が最も多く、「仕事内容（やりがい、スキルアップ等）」「待遇（給与・休暇・研修等）」はほぼ同じ割合であった（表10、図10）。

従事場所別では、介護施設、学校・養成所は「仕事内容」と回答した者が多く、行政、診療所、病院は「職場の良好な人間関係」と回答した者が多かった。

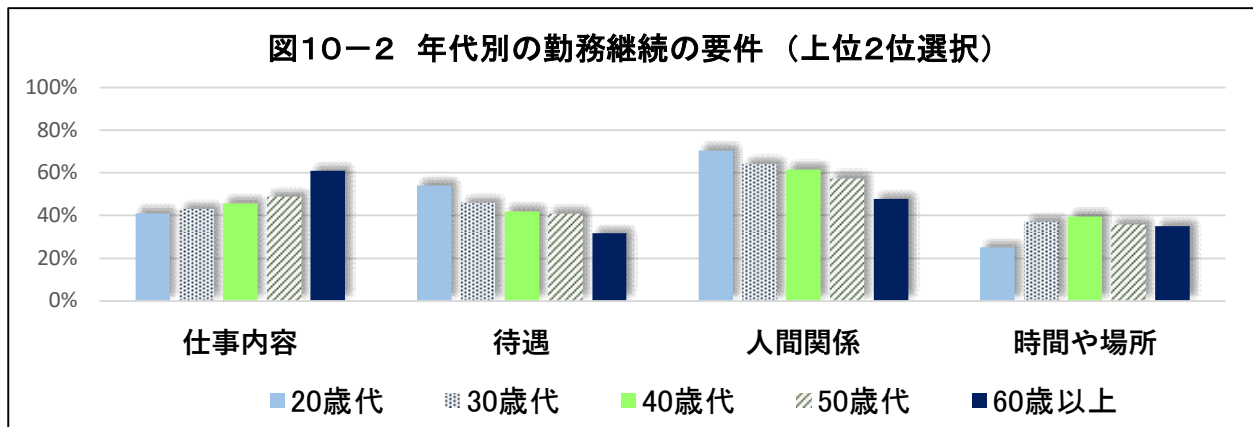
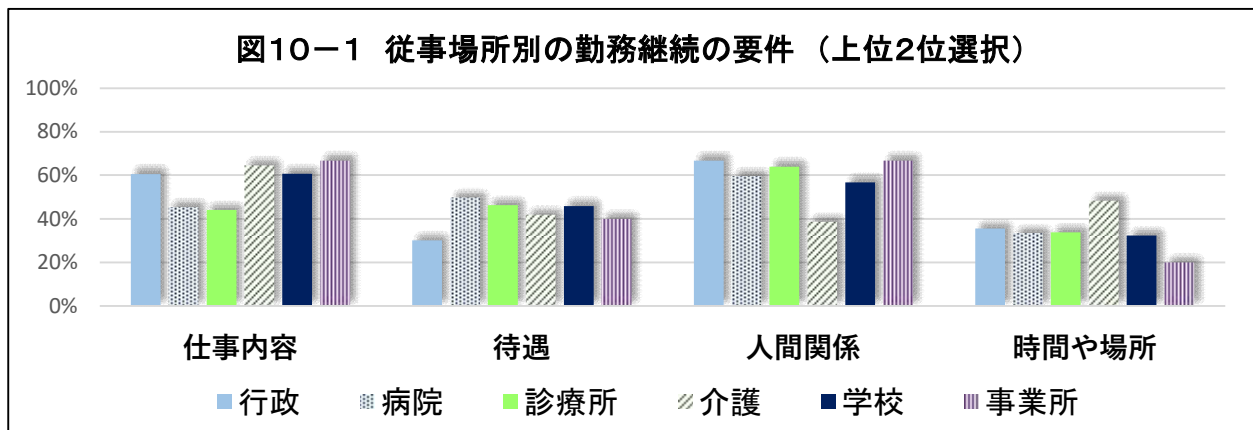
年代別では、若い年代ほど「職場の良好な人間関係」「待遇」と回答した者が多く、年代が上がるにつれ「仕事内容」と回答する者が多かった。

表10-1 従事場所別の勤務継続の要件（上位2項目選択）

	行政	病院	診療所	介護	学校	事業所	その他	合計	割合
仕事内容(やりがい、スキルアップ等)	109	145	2,712	20	45	10	9	3,050	44.9%
待遇(給与・休暇・研修等)	54	159	2,852	13	34	6	10	3,128	46.0%
職場の良好な人間関係	120	190	3,932	12	42	10	16	4,322	63.6%
勤務しやすい時間や職場の場所	64	107	2,079	15	24	3	7	2,299	33.8%
実人数(分母)	180	319	6,154	31	74	15	23	6,796	100.0%

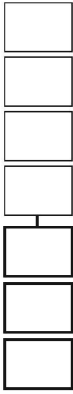
表10-2 年代別の勤務継続の要件（上位2項目選択）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計
仕事内容(やりがい、スキルアップ等)	830	758	744	522	196	3,050
待遇(給与・休暇・研修等)	1,097	808	683	438	102	3,128
職場の良好な人間関係	1,424	1,127	1,004	613	154	4,322
勤務しやすい時間や職場の場所	509	652	643	382	113	2,299
実人数(分母)	2,023	1,755	1,628	1,068	322	6,796



(歯科衛生士業務従事者届ハガキ表面)

郵便はがき



郵送の場合
は63円切手
を貼って
ください

歯科衛生士業務従事者届について

この届は、歯科衛生士業務に従事している方が提出するものです。

歯科衛生士法に規定された届です。これに違反すると30万円以下の罰金が科せられます。

歯科衛生士法 第6条

3 業務に従事する歯科衛生士は、厚生労働省令で定める2年ごとの年の12月31日現在における氏名、住所その他厚生労働省令で定める事項を、当該年の翌年1月15日までに、その就業地の都道府県知事に届け出なければならぬ。

届出の手順

- 1 宛名面下の枠内に、**令和2年12月31日現在の就業状況**をご記入ください。
- 2 裏面の**届出項目・アンケート回答**にご協力ください。
 - ◆①～④は、歯科衛生士業務従事者届の項目です。厚生労働省の統計に反映されます。
 - ◆⑤～⑯は、歯科衛生士の就業支援に役立てるために実施する**愛知県独自のアンケート**です。集計に際しては、個人を特定できないように届と切り離し統計的に処理します。調査票は、愛知県行政文書管理規程に則り厳重に取り扱います。調査結果は、愛知県ホームページで公開する予定です。回答は任意ですが、できる限りご協力いただきますようお願いいたします。
- 3 **はがき(従事者届)**を切り取り、**令和3年1月15日まで**にご提出ください。
 - ◆職場でまとめて提出する場合は、職場の担当者へお渡しください。
 - ◆個人で提出する場合は、宛先を記入し、63円切手を貼ってご投函ください。
(直接お持ちいただく際は、平日8:45～17:30にお願ひします)

ふりがな氏		男・女	歳
自宅住所			
歯科衛生士名簿登録(免許証)	番号	登録日	都道府県知事免許の方 (平成3年6月30日以前に取得) 都 道 府 県 []
業務に従事する場所 ※1つ選択	住所	愛知県	
	名称	Tel () -	

※上の枠内をご記入後、はがき裏面の回答にご協力ください。

従事場所	はがきの宛先
名古屋市内	(住所不要) 〒460-8501 愛知県守 保健医療局 健康医務部 健康対策課
それ以外の市町村	従事場所を管轄する保健所

※オンラインによる届出も利用できます。(あいち電子申請・届出システム)

◆ご自宅や職場から、パソコン・スマホ等を使って届出できます。



【問合せ先】 愛知県保健医療局 健康医務部 健康対策課
歯科・栄養グループ 電話 052-954-6271 (平日 8:45～17:30)



愛知県歯科衛生士バンクにご登録ください!

無料セミナー案内、メルマガ配信、就職相談、求職票登録など、就業を支援する情報サイトです。



(歯科衛生士業務従事者届ハガキ裏面)

※はかき表面の下の枠内から先にご記入ください。

① 性別	男 <input type="checkbox"/> 女 <input type="checkbox"/>	② 年齢 12月31日現在	歳
③ 従事場所 1つ選択	保健所 <input type="checkbox"/> 保健所 <input type="checkbox"/> 老健 <input type="checkbox"/> 養成所 <input type="checkbox"/>	市区町村 <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 区 <input type="checkbox"/> 町 <input type="checkbox"/> 村 <input type="checkbox"/> 特養 <input type="checkbox"/> 介護医療院 <input type="checkbox"/> 事業所 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	病院 <input type="checkbox"/> 居宅事業所 <input type="checkbox"/> 介護その他 <input type="checkbox"/>
④ 住所 (従事場所)			市・町・村 <input type="checkbox"/> 区 <input type="checkbox"/>
⑤ 雇用形態 1つ選択	常勤 <input type="checkbox"/>	パート・非常勤 <input type="checkbox"/>	その他 <input type="checkbox"/>
⑥ 離職経緯 その理由 1つ選択	ない <input type="checkbox"/>	ある → <input type="checkbox"/>	離職の回数 <input type="checkbox"/> 回
⑦ 勤務年数 1つ選択	1つ選択 <input type="checkbox"/>	仕事内容 <input type="checkbox"/>	人間関係 <input type="checkbox"/>
⑧ 現在の業務内容	出産等 <input type="checkbox"/>	家庭事情 <input type="checkbox"/>	健康 <input type="checkbox"/>
⑨ 利用できる福利厚生	~1年 <input type="checkbox"/>	~3年 <input type="checkbox"/>	~5年 <input type="checkbox"/>
⑩ 歯科衛生士の人数	~10年 <input type="checkbox"/>	~15年 <input type="checkbox"/>	~20年 <input type="checkbox"/>
⑪ 必要なスキルアップ	保健指導 <input type="checkbox"/>	う蝕予防 <input type="checkbox"/>	歯周病 <input type="checkbox"/>
⑫ 継続要件	口腔ケア <input type="checkbox"/>	食支援 <input type="checkbox"/>	健康教育 <input type="checkbox"/>
	歯科医師国保 <input type="checkbox"/>	健康保険 <input type="checkbox"/>	厚生年金 <input type="checkbox"/>
	その他休暇 <input type="checkbox"/>	退職金 <input type="checkbox"/>	健康診断 <input type="checkbox"/>
	研修 <input type="checkbox"/>	余暇 <input type="checkbox"/>	その他 <input type="checkbox"/>
	う蝕・フッ化物 <input type="checkbox"/>	歯周病 <input type="checkbox"/>	ケアプロセス <input type="checkbox"/>
	口腔ケア <input type="checkbox"/>	周術期 <input type="checkbox"/>	災害 コミュニケーション <input type="checkbox"/>
	2つまで選択可 <input type="checkbox"/>	仕事内容 <input type="checkbox"/>	待遇 <input type="checkbox"/>
		人間関係 <input type="checkbox"/>	時間や場所 <input type="checkbox"/>

届出項目・アンケート回答の方法

- ◆該当する項目のチェックボックスに、黒色のボールペンもしくは、黒色の鉛筆・シャープペンシルで、✓をご記入ください。
- ◆②年齢、④住所(従事場所)、⑥離職の回数、⑩人数の欄は、枠内に1文字ずつ、左語めで、正しいに記入ください。

チェックボックス
記入例

③ 従事場所 主たるものを 1つ選択	1. 保健所 2. 県 3. 市区町村(保健センター等) 4. 病院 5. 診療所(歯科診療所) 6. 介護老人保健施設 7. 介護医療院 8. 指定介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) 9. 居宅介護支援事業所 10. その他介護施設(6~9以外の介護施設) 11. 歯科衛生士学校・養成所 12. 事業所(企業、教育研究機関など) 13. その他(1~12に該当しない場所)
⑤ 雇用形態 1つ選択	●現在の雇用形態をお聞かせください。 1. 常勤 2. パート・非常勤 3. その他
⑥ 離職経緯 その理由 1つ選択	●今までに離職(転職)の経緯がありますか。 1. ない 2. ある [回] ●ある人：これまでの離職(転職)の理由をお聞かせください。 1. 仕事内容 2. 待遇 3. 人間関係 4. 勤務時間 5. 結婚・出産・育児 6. 家庭の事情 7. 健康・感染の不安 8. 他の業種に転職 9. その他
⑦ 勤務年数 1つ選択	●現在の職場での勤務年数をお聞かせください。 1. 1年未満 2. 1~3年未満 3. 3~5年未満 4. 5~10年未満 5. 10~15年未満 6. 15~20年未満 7. 20年以上
⑧ 現在の業務内容 複数選択可	●現在あなたが通常行っている業務内容をお聞かせください。 1. 歯科保健指導 2. う蝕予防処置 3. 歯周病管理・スカル・リポートトレーニング 4. 小児の口腔機能支援 5. 高齢者の口腔機能支援 6. 在宅等(施設・病棟を含む)の口腔ケア 7. 在宅等の食支援・摂食嚥下訓練 8. 学校等での集団健康教育 9. 受付・アシスタント業務 10. その他
⑨ 利用できる福利厚生 複数選択可	●現在の職場であなたが利用できる福利厚生制度をお聞かせください。(利用に関わらず) 1. 歯科医師国保 2. 1以外の健康保険 3. 厚生年金 4. 通勤手当 5. 有給休暇 6. 5以外の休暇 7. 退職金 8. 健康診断 9. 予防接種補助 10. 産休・育休制度(離職後の職場復帰を含む) 11. 研修費用補助 12. 余暇費用補助(慰労旅行等) 13. その他
⑩ 歯科衛生士の人数	●現在の職場であなたを含め歯科衛生士の人数をお聞かせください。 ※すべての部署の歯科衛生士数をご記入ください。雇用形態は問いません。
⑪ 必要なスキルアップ 複数選択可	●今後あなたの業務に必要なと思う知識・スキルアップの内容をお聞かせください。 1. う蝕予防・フッ化物応用 2. 歯周病管理・スケール・ルートプレーニング 3. 歯科衛生ケアプロセス 4. 口腔内写真撮影法 5. 口腔機能評価・訓練法 6. 在宅等の口腔ケア・食支援・多職種連携 7. 周術期口腔機能管理 8. 災害時の歯科保健活動 9. コミュニケーション技法 10. 感染対策 11. その他
⑫ 継続要件 2つまで選択可	●歯科衛生士を続けるために重要だと思う上位2つをお聞かせください。 1. 仕事内容(やりがい、スキルアップ等) 2. 待遇(給与・休暇・研修等) 3. 職場の良好な人間関係 4. 勤務しやすい時間や職場の場所